

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成24年度第1回 第4分科会（教育分野）
日時	平成24年10月19日（金） 午前10時～正午
場所	江南市市民体育会館 2階 第4会議室
出席者	市民委員 梶田 福好、川口 邦彦、柴田 熙、森崎 芳子、津田 喜代治
	市職員 武馬 健之、伊神 真一
議題	1. 江南市戦略計画について 2. まちづくり会議について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 会長及び副会長の選出 5. 施策評価の結果について 6. 第2回の会議日程について
資料	資料1 まちづくり会議について 資料2 平成23年度施策評価の結果

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市戦略計画について

- ・経営企画部長より、江南市戦略計画について、これまでの策定経緯やその概要の説明がありました。

2. まちづくり会議について

- ・行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料1に基づき、まちづくり会議の目的、組織、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

3. 委員の自己紹介

- ・各委員から自己紹介がありました。

4. 会長及び副会長の選出

- ・会長に柴田 熙氏、副会長に森崎 芳子氏が選出されました。

5. 施策評価の結果について

〔柱1〕地域に開かれた快適で安全な学校づくり

- ・資料2に基づき、委員（教育課長）より説明がありました。

〔施策①〕学校教育環境の充実

- ・補助教員の配置状況について質問があり、小中学校全体で17名配置しているとの説明がありました。また、全部の学校に配置されているかについての質問があり、小学校に11名、中学校に6名を配置し、大規模校である古知野南小学校と古知野中学校については2名配置しているとの説明がありました。
- ・補助教員が担当する科目について質問があり、それぞれの学校の状況にあわせて、補助教員を時間給のパート職員として募集している。例えば中学校で数学とか英語の補助教員が必要ということであれば、そういった条件で募集をし、配置しているとの説明がありました。
- ・補助教員の勤務体制について質問があり、毎日5時間以内という条件で、平成24年度の勤務時間数は一人あたり875時間になるとの説明がありました。
- ・中学校で実施しているティームティーチングは英語で少人数指導は数学といった運用上でのきまりがあるのかとの質問があり、学校の状況により異なるとの説明がありました。なお、詳しい状況については、学

校現場の状況を確認させていただきたいとの説明がありました。

- ・ティームティーチングを担当する補助教員については県からの教員が確保されていると思うが、さらに市として補助教員を増員しているのかについて質問があり、学校現場の状況を確認し、市費負担の補助教員を配置しているとの説明がありました。また、補助教員を増員する中、学校現場からの増員要望は依然として高い状況であるため、時間数を増やしたり、増員したりすることを検討しなければならないとの説明がありました。
- ・授業中に教室外に出て行ってしまう、児童・生徒がいたら、補助教員が対応するのかについて質問があり、県費職員とは別に市費負担の特別支援学級等を支援する職員を、それぞれの学校の状況に合わせて配置しており、主にこの職員が対応することになるとの説明がありました。
- ・支援職員についての配置状況について質問があり、小学校全体として15名、中学校全体として2名、あわせて17名の支援職員が配置され、基本的には特別支援学級の配置という位置づけではあるが、普通学級においても支援をしているとの説明がありました。また、各学校への配置については、それぞれの支援が必要とされる児童・生徒の状況により異なるとの説明がありました。
- ・市としての補助教員や支援職員の増員配置については評価できるが、普通学級において、補助教員とは別に支援職員の支援が必要である状況が増加傾向にあるのは、子ども達の授業を受ける環境の悪化が危惧される。また、こういう状況の要因の一つに、社会状況の変化により、親が仕事の事情により家庭において、子どもと接する時間が少なくなっていることもあるのではないかと意見がありました。
- ・「学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合」の指標について、実績値がもっと高くないといけないとの意見があり、そのためには、教員の負担を少しでも軽減し、教員自らが質を高めるため自己研鑽し、また、教員が子どもに接する時間を増やせるような環境づくりを進め、「わかる授業・楽しい授業」をめざしていくのが教員であるため、そこに力を入れていく必要があるとの意見があり、議会においても「教員が夜遅くまで、雑多の事務に追われ、疲弊してしまい、子ども達に接する時間や心の余裕が無くなっている。」との指摘を受けており、校長会などを通じて教員の職場環境の改善に向け検討していただくようお願いしているとの説明がありました。また、最近の状況としては、夜遅くまでの従事については少しずつ改善されつつあるとの報告を受けているとの説明がありました。
- ・教員が疲弊していると、子どもの教育環境も悪くなるのが危惧されるため、教員の負担を少しでも軽減するため、会議の開催数を減らすなど、事務の簡素化を図る必要があるのではないかと意見がありました。
- ・小学校の教員が余裕を持って授業ができるよう、音楽や理科などの科目については専門担当教員を配置するなどの工夫をしてはとの意見がありました。
- ・子どもの教育環境の改善については、学校の現場だけで考えるのではなく、学校が地域へ出向き、地域の皆さんと意見交換をする懇談会などを開催し、地域全体で改善に向け検討してみてもどうかとの意見がありました。

6. 第2回の会議日程について

- ・第2回、第3回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 10月26日(金) 午後6時00分～

<第3回> 11月 5日(月) 午後6時00分～